

和洋女子大学大学院 看護学研究科

和洋女子大学大学院 看護学研究科をめざす皆さんへ

和洋女子大学は、保健・医療・福祉への生活支援ネットワークの要となる質の高い看護職人材の育成をめざし、2024年(令和6年)4月に大学院看護学研究科修士課程を開設いたしました。本研究科では、現代社会の看護ニーズに応え、医療の現場の諸課題に柔軟に対応できる知識とコミュニケーション能力に加え、実践現場での調整能力と問題解決力およびリーダーシップを備えた看護実践者、看護管理者、看護研究者、看護教育者を育成します。



大学院をめざす皆さんへ

国際社会は激動の渦の中にあり、将来の日本を支える若人は、否応なく世界基準での客観的かつ論理的思考を問われることになるでしょう。大学院は自ら直面する疑問を解決する方法を学び、それを発表することで広く社会貢献をする自意識を養うところです。国際社会を俯瞰する視点に立ち、社会の質(QOS: Quality of society)向上をめざすためには、学生、教員問わず、広い視野をもって様々な疑問点を抽出し、その解決のために尽力する気概が求められています。和洋女子大学大学院は、皆さんの生涯学習の拠点となるよう、さらに歩み続けます。

大学院長 金子健彦



看護の質の向上と自身のキャリアアップを支援します

看護学研究科は、臨床現場のみならず地域社会を取り巻くさまざまな保健・医療・福祉に対する課題に、看護専門職として主体的に取り組める課題解決力、総合的な調整能力とリーダーシップ、コミュニケーション力を備えた看護実践者、看護管理者、看護研究者、看護教育者の人材を育成することを目的としています。心理学科、健康栄養学科、家政福祉学科等の学科を有する総合大学としての強みを活かし、看護職に必要な「臨床心理学特論」「臨床栄養学特論」「社会福祉学特論」を共通科目に配置し、看護管理者をめざす方のために「看護管理特論」「チーム医療特論」、看護教育者を志す方へ「看護教育特論」、看護職としての課題解決能力を養う「研究方法Ⅰ・Ⅱ」等の科目を設け、学部教育を修了した方がさらに広く深く看護を学ぶことができます。現在、

臨床の現場で活躍している社会人の方が、そのキャリアを中断することなく学び続けられるよう、平日夜間と土曜日に開講し、本学の国府台キャンパスさとみ館にて履修します。よりよい看護実践を通して、看護の質の向上と看護職として自身のキャリアアップをめざす皆様の入学を心からお待ちしています。

看護学研究科長 中澤明美

学問領域

大学院での研究を進めるにあたって、基盤となる「共通科目」を学修したうえで、専攻する専門領域を学修します。カリキュラムでは、「基盤看護学領域」と「広域看護学領域」の2つの領域に分けられ、領域ごとに特論(講義)から演習、特別研究と体系的な学びを展開します。30単位以上を修得し、かつ修士論文の審査および最終試験に合格することで、修士(看護学)の学位が授与されます。

和洋女子大学大学院 看護学研究科 看護学専攻では、以下の5つの能力が身につきます。

- 1 看護実践上の課題を見出し、研究を計画・実施し、課題解決のための方法を探求する能力
- 2 専攻する分野の看護における課題を、知識と経験から得た根拠に基づき、分析し解決する能力
- 3 高い倫理観をもち、複雑な倫理的課題に対応できる能力
- 4 ケアの対象者および多職種の持つ多様な価値観や背景を理解し、連携・協働を推進する能力
- 5 看護の質の改善に向けて取り組み、看護学および地域社会の保健・医療・福祉の発展に寄与できる能力

看護学研究科

共通科目

- ・研究方法Ⅰ・Ⅱ
- ・看護教育特論
- ・看護倫理学特論
- ・チーム医療特論
- ・公衆衛生学特論
- ・地域包括ケア特論
- ・疫学保健統計学特論
- ・臨床心理学特論
- ・社会福祉学特論
- ・臨床栄養学特論

基礎看護学領域

- ・看護管理
- ・小児看護学
- ・成人看護学
- ・老年看護学

広域看護学領域

- ・健康医療政策学
- ・ウィメンズヘルス看護学
- ・精神看護学
- ・産業看護学
- ・地域看護学

特別研究

修士論文

予定する支援制度

- ・平日夜間、土曜日開講*
- ・長期履修制度*

*長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、最長4年間で計画的に教育課程を履修し、修了する制度

看護師免許取得または、入学までに看護師免許を取得見込みの方は、一定の時期までに個別入学資格審査により、受験が可能となることがあります。詳しくは『学生募集要項』をご覧ください。入試・広報センター(TEL:047-371-1127)へお問合せください。

大学院生インタビュー



看護学研究科 修士課程 1年

「老年看護学」ゼミ所属

K.Kさん

大学院進学のきっかけ

看護大学の1年次の時からユマニチュードの授業が導入され、その理論が、実際に演習や臨地実習で実施されて学生に根付いていることに、大変、感動したからです。

大学院で学んでいること

中澤教授のゼミで、老年看護学を学んでいます。現在、看護学部の教員をしており、高齢者の身体拘束の研究と共に、老年看護学を深く学び、教員として学生に還元していきたいと思っています。看護学研究科の仲間との学習は、とても刺激があり、改めて、学ぶ楽しさを感じながら、とても有意義な毎日をご過ごしています。

看護学研究科 修士課程 1年

「看護管理学」ゼミ所属

K.Sさん

大学院進学のきっかけ

都内からのアクセスの良さと、先生方が研究に熱心で人間力が高いところに魅力を感じていました。そんな尊敬できる先生方のもとで学びたいと思い、進学を希望しました。

大学院で学んでいること

大学院では、クリニックで働く看護師のキャリアアップ支援について研究しています。仕事で悩んだり困った時、看護学研究科で学んだ理論を用いたり、論文を読むなど、問題の解決方法が多様になり、知見が広がったと実感しています。大学院で学ぶ楽しさを感じながら、仕事にも意欲的に取り組むことができています。

看護学研究科 修士課程 1年

「看護管理学」ゼミ所属

K.Sさん

大学院進学のきっかけ

在職中に和洋女子大学大学院の先生方から指導をしていただく機会がありました。その先生方のもとで「もっと学びたい！」と思い、看護学研究科へ進学することを決めました。

大学院で学んでいること

潜在看護師に関する研究をしています。学修を深めていくと、すべての科目に関連性があり、1つひとつの講義から得られる学びが多岐にわたっていると感じます。仕事で何かを調べる時は、論文を活用するようになりました。少人数の講義で、先生方とも密にディスカッションができるので、日々、非常に有意義な時間を過ごしています。

看護学研究科 修士課程 1年

「看護管理学」ゼミ所属

S.Aさん

大学院進学のきっかけ

看護師になってから25年。現在、看護管理者として勤務をする中で、力不足を感じることもありました。もっと自信を持ち、これからも続く看護師人生を、もっと豊かにするために、大学院で学びたいと思うようになりました。

大学院で学んでいること

看護管理者に関する研究を深めていきたいと考えています。仕事をする中で、失敗したり悩むことがありますが、授業で学んだことや先生方の貴重な言葉を思い出すと、気持ちが楽になり、解決方法を見出すことができます。また、大学院で共に学ぶ仲間ができたことは、私にとって、素晴らしい経験です。

※所属・学年は取材時のものです

修了時に得られる受験資格

認定看護管理者（公益社団法人日本看護協会認定）

受験資格について

認定審査を受験する者は、以下の条件をすべて満たしていなければなりません。

- 1 看護師免許を有する
- 2 看護師として5年以上の実践経験（うち通算3年以上、看護師長相当以上の看護管理の経験があること）
- 3 看護管理に関連する学問領域の修士以上の学位を取得していること
⇒「看護管理」に関連する単位を取得し、修士論文に「看護管理」についての内容が論述されていること
※詳細は、日本看護協会のホームページでご確認ください。

日本看護協会
ホームページ



Point!

働きながら学ぶ環境が整っています!

看護学研究科では、平日夕方や土曜日に授業を設定しているため、仕事を続けながら大学院に通うことができます。また、看護専門学校・看護短期大学卒業の方については、個別入学資格審査を実施しています。

個別入学資格審査
についての
詳細はこちらから



和洋女子大学大学院では多様な経済援助制度を用意!

- 仕事や生活に合わせ、在籍期間を延長できる「長期履修学生制度」を実施
- 大学と同じ、学内外の奨学金制度を利用でき、返済金の免除制度あり
- TA*の仕事を年間最大40万円の収入を得ることも可能
※TA：大学の授業補助をするティーチング・アシスタント制度

詳細はこちらから

